

平成23年度 施策評価

整理番号 11

内部評価結果

施策名	市民主体の健康づくりの推進
-----	---------------

所管部局	健康長寿福祉部
所管部局長の氏名	中村 悦雄

1. 総合計画(後期基本計画)

基本方針	(政策)	健やか安心都市	計画項目	(施策)	市民主体の健康づくりの推進
施策目的	(何を対象に、どのような状態にしたいのか)	1.食生活の変化によりガンや要介護状態の原因疾患である脳卒中にならないために、早期発見・早期治療を目的とした検診実施や生活習慣を市民一人ひとりが知って実施していくため、健康づくり推進員による知識の普及や生活習慣改善に取組み、健康で元気な健康長寿のまちづくりを目指す。 2.生活環境の変化によりこころの病気が増えてきていることから、精神科医によるうつ予防の講演会や臨床心理士による心の相談業務、ゲートキーパー研修により、心の健康づくり対策を推進する。 3.少子高齢化や核家族化が進む中、関係機関の連携を強化し母子の健康増進や子育て支援、虐待の予防・早期発見に取り組み、子ども達の健やかな成長をはぐむ環境づくりを推進する。			

2. めざす目標

めざす目標	指標名	総合計画策定時 (H17)		後期基本計画策定時 (H20)		平成22年度実績値 (現状)		目標 (H26)	
		年度	年度	年度	年度	年度	年度		
健康な市民を増やします	う歯(むし歯)のない3歳児の割合	58%	H16	62.1%	H19	71.9%	H22	70%	H26
	胃がん検診の受診率	22%	H16	26.9%	H19	27.8%	H22	50%	H26
	乳がん検診の受診率	17%	H16	44.8%	H19	49.9%	H22	50%	H26
	子宮がん検診の受診率	15%	H16	42.1%	H19	45.4%	H22	50%	H26
	大腸がん検診の受診率	26%	H16	37.4%	H20	40.9%	H22	50%	H26
	肺がん検診の受診率	新規	-	43.5%	H20	45.9%	H22	50%	H26
こころの健康づくりを進めます	「うつ予防」健康教室開催回数	新規	-	50回	H19	16回	H22	50回	H26

3. 評価結果一覧

施策方針	事務事業 事業内容(実績)	担当課	予算額(単位:千円)		評価結果									
			H22決算額	H23予算額 (一般財源)	事務事業評価					今後の方向性		施策評価		
					根拠法令	財政負担	事業種別	対象	実施手法	関与必要性 数値	説明	今後の方向性	施策貢献度	今後の方向性
1 市民主体の健康づくりの推進	1 健康づくり推進員活動事業 健康づくり推進員の委嘱、育成研修会の開催	健康推進課	1,452	1,902 (1,902)	市規定	単費	サービス	市民	直	6	生命財産 権利保護	現状維持	A	現状維持
	2 在宅健康管理システム事業 携帯端末機器と自動血圧計を活用して、在宅の市民に保健師が健康指導を実施	健康推進課	500	3,639 (2,139)	なし	府・一部	サービス	市民	直	1	該当なし	現状維持	A	現状維持
	3 在宅健康管理システム事業(繰越) 在宅健康管理システムの構築(携帯端末、自動血圧計各200台)	健康推進課	33,752	-	なし	国等全額	サービス	市民	直	1	該当なし	現状維持	A	終了・廃止
2 一次予防の重視	1 地域健康づくり推進事業 食生活改善推進員による市民の健康づくりを推進(推進員239人、研修会延12回、地域伝達講習会31回)	健康推進課	384	564 (564)	国規定	単費	サービス	市民	直	6	生命財産 権利保護	現状維持	A	現状維持
	2 新型インフルエンザ 予防接種事業(繰越) 低所得者世帯の新型インフルエンザ 予防接種を公費負担で実施(1回目569人、2回目82人)	健康推進課	408	-	義務	国・一部	-	-	-	-	-	-	A	終了・廃止
	3 子宮頸がん等予防接種事業 子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン接種の勧奨	健康推進課	17,090	96,775 (48,393)	国規定	国・一部	サービス	市民	委	2	特定サービス	縮小	AA	縮小
3 健康づくり支援体制の充実	1 保健センター管理運営事業 保健センターの維持管理(峰山町を除く各町センター5箇所)	健康推進課	5,374	4,942 (4,843)	市規定	単費	維持管理	市民	直	1	該当なし	統合(整理)	A	現状維持
	2 不妊治療費助成金 不妊治療を受けている夫婦に対して不妊治療にかかる費用の一部を助成(34人)	健康推進課	704	1,500 (750)	国規定	府・一部	サービス	市民	直・補	1	該当なし	拡大	A	現状維持
	3 母子健康支援事業 妊娠中から出産、子育て期間を通して、健診、各種教室を実施(妊婦健診、乳幼児健康診査)	健康推進課	39,959	47,213 (33,601)	義務	府・一部	-	-	-	-	-	-	AA	現状維持
	4 発達障害児等早期発見・早期療育支援事業 健康観察(問診票)による発達障害児の早期発見、早期療育(対象児数:258名)	健康推進課	264	938 (938)	なし	府・一部	サービス	市民	直	6	生命財産 権利保護	現状維持	A	現状維持
	5 健康相談・指導事業 総合健診結果報告会を開催(57会場 2,708人)し、健康相談・保健指導・栄養指導を実施	健康推進課	3,317	2,856 (2,558)	国規定	府・一部	サービス	市民	直	6	生命財産 権利保護	現状維持	A	現状維持
	6 総合検診事業 健康診査と各種がん検診などを同時に受ける総合検診を実施(48日間・27会場)	健康推進課	108,194	112,941 (105,362)	国規定	国・一部	サービス	市民	直	6	生命財産 権利保護	現状維持	AA	現状維持
	7 機能訓練事業 疾病等により心身機能低下者に対し、機能回復、介護予防に必要な訓練、知識の提供(22回)	健康推進課	154	257 (257)	国規定	単費	サービス	市民	直	6	生命財産 権利保護	現状維持	A	現状維持
	8 予防接種事業 予防接種法に基づく予防接種及び高齢者インフルエンザ 予防接種の実施	健康推進課	95,055	99,951 (99,951)	義務	国・一部	-	-	-	-	-	-	AA	現状維持
4 自殺予防対策の推進	1 自殺予防対策事業 京丹後市自殺ゼロ実現推進協議会との連携のもと自殺予防対策(いのちの電話、心の相談、パンフレット)	健康推進課	1,328	2,041 (1,071)	国規定	府・一部	サービス	市民	直・委・補	5	生活支援 安全網	現状維持	A	現状維持
	計		307,935	375,519 (302,329)										

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	02保健対策費	03健康づくり推進員活動事業														
細事業名	01 健康づくり推進員活動事業			決算書 P.174														
総合計画	基本方針	健やか安心都市	計画項目	市民主体の健康づくりの推進														
決算額		最終予算額	不用額 (-)	執行率														
1,452千円		1,454千円	2千円	99.8%														
目的	京丹後市健康増進計画における健康づくりを地域で具体的に推進していくために、地域の健康づくりリーダーとして健康づくり推進員を委嘱し、その研修と活動の支援を行う。																	
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>任期2年の1年目であり、健康づくり推進員の役割を理解し、地域で健康づくりを推進するための正しい健康知識を得るための研修会を行った。特に健康管理の基本である総合検診を市民に受けてもらうための工夫や、受診率向上のための内容を盛り込んだ。</p> <p>研修会の開催</p> <p>第1回全体研修会（11月22日） 参加人数：92人 講演「楽しくやろう！地域の健康づくり・元気づくり」 講師：同道正行（京都医療センター）</p> <p>第2回全体研修会（3月13日） 参加人数：117人 講演「地域を元気にする秘訣とは…」 講師：坂根直樹（京都医療センター）</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康づくり推進員活動謝金（232人） 1,160千円 講師謝金（2人） 200千円 費用弁償（講師旅費） 20千円 消耗品費（啓発用ポケットティッシュほか） 18千円 通信運搬費（郵便代） 54千円 <p>健康づくり推進員（平成23年3月末現在）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>峰山</th> <th>大宮</th> <th>網野</th> <th>丹後</th> <th>弥栄</th> <th>久美浜</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>48人</td> <td>27人</td> <td>45人</td> <td>22人</td> <td>17人</td> <td>73人</td> <td>232人</td> </tr> </tbody> </table> <p>任期：平成22年3月25日～平成24年3月24日（2年間）</p>				峰山	大宮	網野	丹後	弥栄	久美浜	合計	48人	27人	45人	22人	17人	73人	232人
峰山	大宮	網野	丹後	弥栄	久美浜	合計												
48人	27人	45人	22人	17人	73人	232人												
主な財源	府補 未来づくり交付金（健康づくり推進員活動事業）			100千円														
評価・課題等	<p>・ブロック別研修会、全体研修会を実施する中で、推進員自身の健康づくりを振り返ったり、家族、地域の健康づくりに目を向ける意識づけができ、推進員活動の基礎作りになった。徐々にではあるが、地域で推進員中心の健康づくり活動ができる地区もできつつある。また、推進員中心の検診受診キャンペーンでは市民への啓発活動も実施した。</p> <p>・今後は、地域での具体的な活動につながるような事業内容にしていく必要がある。</p>																	
事業所管課	健康長寿福祉部 / 健康推進課																	

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	02保健対策費	05在宅健康管理システム事業																																
細事業名	01 在宅健康管理システム事業			決算書 P.174																																
総合計画	基本方針	健やか安心都市	計画項目	市民主体の健康づくりの推進																																
決算額		最終予算額	不用額 (-)	執行率																																
500千円		508千円	8千円	98.4%																																
目的	市民が自動血圧計と携帯端末機器を使い、在宅での血圧測定を習慣化し、健康管理意識を高めていくことにより、生活習慣病や早世、寝たきりなどの予防を推進していく。																																			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>市民が在宅で、携帯電話網に接続した携帯端末機器と自動血圧計を使い、健康情報（血圧、脈拍、体調、歩数、体重）を携帯端末機器から市サーバに送り、保健師等がモニターをして必要に応じた健康指導を実施した。</p> <p>健康指導臨時保健師・栄養士賃金（保健師1人、栄養士1人） 478千円</p> <p>消耗品費（指導用リーフレットほか） 17千円</p> <p>通信運搬費（結果レポート郵送通知） 5千円</p> <p>利用状況</p> <table border="1"> <tr> <td>稼働期間</td> <td colspan="3">平成22年12月～平成23年3月</td> </tr> <tr> <td>利用台数</td> <td>(H23.3月末)</td> <td>160</td> <td>台</td> </tr> <tr> <td>血圧データ送信回数</td> <td>延べ</td> <td>7,739</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>体調等データ送信回数</td> <td>延べ</td> <td>985</td> <td>回</td> </tr> </table> <p>指導状況</p> <table border="1"> <tr> <td>電話での保健指導（対応）</td> <td>延べ</td> <td>80</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>メール指導</td> <td>延べ</td> <td>583</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>訪問</td> <td>延べ</td> <td>62</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>来所</td> <td>延べ</td> <td>4</td> <td>件</td> </tr> </table>				稼働期間	平成22年12月～平成23年3月			利用台数	(H23.3月末)	160	台	血圧データ送信回数	延べ	7,739	回	体調等データ送信回数	延べ	985	回	電話での保健指導（対応）	延べ	80	件	メール指導	延べ	583	件	訪問	延べ	62	件	来所	延べ	4	件
稼働期間	平成22年12月～平成23年3月																																			
利用台数	(H23.3月末)	160	台																																	
血圧データ送信回数	延べ	7,739	回																																	
体調等データ送信回数	延べ	985	回																																	
電話での保健指導（対応）	延べ	80	件																																	
メール指導	延べ	583	件																																	
訪問	延べ	62	件																																	
来所	延べ	4	件																																	
主な財源	府補 未来づくり交付金（在宅健康管理システム事業）			80千円																																
評価・課題等	<p>・市民が自宅にいながら、保健師が健康情報をチェックし、メールや電話での指導が可能となるなど、市域が広い本市において有効な、健康管理におけるICTの利活用が実現できた。</p> <p>・医療機関への受診につながった利用者もあり、安心、安全な環境づくりへとつながりつつある。利用者からも「血圧値も下がってきた」、「健康への関心が深まった」などの効果が出てきている。利用期間を1年とし、多くの方に貸出しする循環方式を継続していくことで、生活習慣病や介護状態の予防、医療費削減が期待できる。</p>																																			
事業所管課	健康長寿福祉部 / 健康推進課																																			

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	02保健対策費	05在宅健康管理システム事業
細事業名	01 在宅健康管理システム事業（繰越）			決算書 P.174
総合計画	基本方針	健やか安心都市	計画項目	市民主体の健康づくりの推進
決算額		最終予算額	不用額（-）	執行率
33,752千円		36,986千円	3,234千円	91.2%
目的	市民が自動血圧計と携帯端末機器を使い、在宅での血圧測定を習慣化し、健康管理意識を高めていけるシステム構築を行う。			
主要な事務・事業及び成果の概要	市民が在宅で、携帯電話網に接続した携帯端末機器と自動血圧計を使い、健康情報(血圧、脈拍、体調、歩数、体重)を携帯端末機器から市サーバに送り、保健師等がモニターをして必要に応じた健康指導を行えるシステム環境を整備した。			
	事業費			
	在宅健康管理システムの開発		13,188千円	
	（機能概要）			
	専用の携帯端末機器から、日々の健康情報を市サーバに送信できる。グラフ作成やデータ分析、アドバイスメールの送信、遠方の家族に測定値をメールで配信することができる。			
	<ul style="list-style-type: none"> 健康情報測定及び送信システム 健康情報管理システム 健康情報統計及び分析システム 健康指導及び家族連絡メールシステム 			
	備品購入			
	管理・メールサーバ（各1台）・携帯端末（200台）		16,548千円	
	在宅健康管理システム専用自動血圧計（200台）		3,875千円	
	ソフトウェア使用料		85千円	
その他経費				
高血圧に関する医師講演会（2会場で実施）		55千円		
医師講師謝金（2人）				
参加人数：127人				
費用弁償（地域協議会委員旅費）		1千円		
主な財源	国補 地域情報通信技術活用推進交付金（10/10）			33,610千円
評価・課題等	市民が自宅にいながら、保健師が健康情報をチェックし、メールや電話での指導が可能となるなど、市域が広い本市において有効な、健康管理におけるICTの利活用システムが構築できた。			
事業所管課	健康長寿福祉部 / 健康推進課			

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	02保健対策費	01地域健康づくり推進事業		
細事業名	01 地域健康づくり推進事業			決算書 P.174		
総合計画	基本方針	健やか安心都市	計画項目	市民主体の健康づくりの推進		
決算額		最終予算額	不用額（-）	執行率		
384千円		385千円	1千円	99.7%		
目的	健康づくりに対する意識を啓発するとともに、健康づくりの重要な要素である栄養の視点から食生活改善のための地域活動を推進する。					
主要な事務・事業及び成果の概要	健康づくりに欠かせない食生活の視点から、健康づくりを推進するため、管理栄養士が食生活改善推進員に研修を実施した。それを受けて食生活改善推進員が地域住民へ、生活習慣病予防などのための伝達講習会を行い、市民の健康づくりを支援した。					
	【事業実施状況】					
	地域活動を進めるための研修会		62千円			
	担当：健康推進課管理栄養士					
	6支部×2回開催（延べ12回開催）、参加人数：延べ225人					
	第1回「伝えたいたんごの味の普及について（子ども向き）」					
	講話と調理実習		115人			
	第2回「伝えたいたんごの味の普及について」					
	講話と調理実習		110人			
	養成講座（6講座開催 5人修了）		49千円			
地域における食生活改善を中心とした健康づくり運動を積極的に推進する食生活改善推進員を養成するため、食を中心とした健康づくりに関する基礎知識とボランティア活動推進を中心とした講座を開催した。						
地域伝達講習会		273千円				
31回開催、参加人数：延べ507人						
食生活改善推進員による地域住民へ、健康づくりに欠かせない食生活の視点から生活習慣病予防などのための講習会を行い、市民の健康づくりを支援した。						
【会員数】						
峰山	大宮	網野	丹後	弥栄	久美浜	合計
39人	63人	39人	41人	30人	27人	239人
主な財源						
評価・課題等	食生活改善推進員の地域での活動を支援するとともに、食生活改善推進員の養成と食に関する豊かな知識を得るための講習会を実施し、市民の健康づくりを支援することができた。 地域伝達講習会は、幅広い年代の方の参加が望まれるが、壮年期、高齢期の参加が多く若い世代の参加が少ないことから、地域伝達講習会や食生活改善推進委員の活動を広く知らせる必要がある。					
事業所管課	健康長寿福祉部 / 健康推進課					

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	05予防費	01予防接種事業
細事業名	02 新型インフルエンザ 予防接種事業（繰越）			決算書 P.180
総合計画	基本方針	健やか安心都市	計画項目	市民主体の健康づくりの推進
決算額		最終予算額	不用額（-）	執行率
408千円		22,234千円	21,826千円	1.8%

目的 低所得者世帯を対象にインフルエンザ予防接種費用の負担軽減を図ることとする。

主要な事務・事業及び成果の概要
 新型インフルエンザウイルスに対する免疫がないことから、広範な流行の恐れがあり、大きな健康被害にとどまらず、社会的・経済的な混乱が生じることが想定されるため予防接種を実施し、感染予防と個人の重症化の防止を図った。
 なお、低所得者世帯に係る接種費用は、公費負担とした。

インフルエンザ予防接種は、対象によって助成額が異なる。

区 分		対象者	接種者（人）	助成額（円）
個別	新型インフルエンザ	65歳未満低所得1回目	94	3,600
		65歳未満低所得2回目	10	2,550
				3,600

2回目の接種に係る助成額は、1回目と同じ医療機関で接種した場合は2,550円、1回目と異なる医療機関で接種した場合は3,600円となる。
 1回目の接種で免疫ができることが判明したとともに、ワクチンの不足により2回目の接種者が減少した。

審査支払手数料	7千円
新型インフルエンザ予防接種費用給付費	401千円

主な財源 府補 新型インフルエンザ 予防接種助成費臨時交付金（3/4） 299千円

評価・課題等
 ・インフルエンザ予防接種においては、低所得者世帯の接種費用を公費負担とし、感染予防と個人の重症化の防止を図ることができた。

事業所管課 健康長寿福祉部 / 健康推進課

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	05予防費	01予防接種事業
細事業名	03 子宮頸がん等予防接種事業			決算書 P.178
総合計画	基本方針	健やか安心都市	計画項目	市民主体の健康づくりの推進
決算額		最終予算額	不用額（-）	執行率
17,090千円		20,513千円	3,423千円	83.3%

目的 ヒブ、小児用肺炎球菌の感染による細菌性髄膜炎の発症及びヒトパピローマウイルスの感染による子宮頸がんの発症を予防するためのワクチン接種費用を全額助成する。

主要な事務・事業及び成果の概要
 京都府が、中学3年生相当の女子に対する子宮頸がん予防ワクチンの接種促進を図るための助成事業を創設したことを受け、接種費用の一部助成を開始したが、国の子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業の実施により、子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの接種費用が助成対象となったため、対象者への周知及び接種の勧奨を行った。

京都府制度（H22.4.1～H23.1.24）		（単位：人）	
	対象者	接種見込者数	延接種者数
子宮頸がん予防ワクチン	中学3年生相当	304	7
国制度（H23.1.25～H23.3.31）		（単位：人）	
	対象者	接種見込者数	延接種者数
子宮頸がん予防ワクチン	中1相当～高1相当	1,250	323
ヒブワクチン	0歳児～4歳児	2,183	577
小児用肺炎球菌ワクチン	0歳児～4歳児	2,183	651

需用費	消耗品費（予診用紙代）	17千円
役務費	通信運搬費（郵送料）	183千円
	手数料（審査支払手数料）	68千円
負補交	集合契約システム改修負担金	118千円
扶助費	子宮頸がん予防ワクチン接種費用助成金（制度改正前）	70千円
	子宮頸がん予防ワクチン接種費用給付費	4,755千円
	ヒブワクチン接種費用給付費	4,838千円
	小児用肺炎球菌ワクチン接種費用給付費	7,041千円

主な財源 府補 子宮頸がん予防ワクチン接種費補助金（1/2） 35千円
 府補 子宮頸がん等予防ワクチン接種費補助金（1/2） 7,059千円

評価・課題等
 ・平成23年1月25日から3つのワクチンの接種費用に係る助成を開始したが、子宮頸がん予防ワクチンは全国的に供給量が不足、また、ヒブ・肺炎球菌ワクチンは3月末まで接種が中止となるなど、接種者が見込みよりも大幅に減少した。
 ・今後は、子宮頸がん及び細菌性髄膜炎の発症を予防するため、接種率の向上に努める必要がある。

事業所管課 健康長寿福祉部 / 健康推進課

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	01保健衛生総務費	02保健センター管理運営事業
細事業名	01 保健センター管理運営事業			決算書 P.170
総合計画	基本方針	健やか安心都市	計画項目	市民主体の健康づくりの推進
決算額		最終予算額	不用額 (-)	執行率
5,374千円		5,590千円	216千円	96.1%
目的	市民の疾病予防並びに健康の維持及び増進を図るために保健活動の拠点であるセンターの適切な維持管理を行う。			
主要な事務・事業及び成果の概要	乳幼児健診、予防接種、健康・介護予防教室事業等の保健事業が円滑に利用者が安全に利用できるよう適切な管理を実施した。			
	【センターごとの主な経費】			
	大宮保健センター（年間利用件数：102件）			34千円
	プロパンガスの燃料費			
	網野保健センター（年間利用件数：169件）			739千円
	プロパンガス・水道・電気等の光熱水費			
		568千円		
	清掃等の委託経費			
		129千円		
	診察室冷房コントロール基板取替修繕経費			
		42千円		
	丹後保健センター（年間利用件数：17件）			813千円
	プロパンガス・水道・電気等の光熱水費			
		422千円		
	電話代			
	40千円			
清掃・警備等の委託経費				
	252千円			
玄関前漏水修繕経費				
	99千円			
弥栄保健福祉センター（年間利用件数：28件、週5日デｲﾝｽﾞ利用）			536千円	
土地借上料（991.73㎡）				
	392千円			
マンホール蓋・エアコン修繕経費				
	144千円			
久美浜保健センター（年間利用件数：396件）			3,115千円	
プロパンガス・重油の燃料費				
	231千円			
水道・電気等の光熱水費				
	1,488千円			
電話代・有線放送料				
	104千円			
清掃・各機械設備等の保守委託経費				
	1,197千円			
冷房配管・自動ドアセンサー修繕経費				
	95千円			
消耗品・建物火災保険料・センター連合会会費				
	137千円			
主な財源	使用料	公有財産使用料	106千円	
評価・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃内容を見直したり、低圧電力の電源切替、草取り作業を職員で実施する等、経費節減に努めたが、設備の老朽化に伴う修繕料の増加が課題となっている。 ・利用実態を踏まえて保健センターのあり方を検討し、施設の有効利用及び効率的な維持管理方法を検討していく必要がある。 			
事業所管課	健康長寿福祉部 / 健康推進課			

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	03母子保健費	01不妊治療費助成事業	
細事業名	01 不妊治療費助成金			決算書 P.176	
総合計画	基本方針	健やか安心都市	計画項目	市民主体の健康づくりの推進	
決算額		最終予算額	不用額 (-)	執行率	
704千円		705千円	1千円	99.8%	
目的	少子化対策の一環として、不妊治療を受けられている夫婦に対して、不妊治療にかかる費用の一部を助成することにより経済的負担を軽減する。				
主要な事務・事業及び成果の概要	医療保険適用の治療を助成対象として、自己負担額の1/2以内で助成した。 （ただし、1人あたり30千円/年度を上限）				
	京丹後市不妊治療助成金交付実績				
		H22年度	H21年度	H20年度	H19年度
	実人員	34人	32人	26人	24人
	助成金額	704千円	563千円	492千円	449千円
	* 不妊治療助成制度は、国の少子化対策の一環として市が制度化しているものであり、京都府においては、市町村への助成制度とは別に府の事業として、特定不妊治療助成事業を実施している。				
	特定不妊治療助成事業の利用状況				
		実人員	延べ件数	助成額	
	H22年度	19人	30件	4,415千円	
	主な財源	府補	不妊治療給付事業補助金（1/2）	352千円	
	評価・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・少子化対策の一環として有効な事業であり、年々制度の利用者、助成金額共に増加している。 ・制度の周知は、市のお知らせ版やホームページを活用しているが、治療の特殊性から産婦人科等の医療機関で本申請を勧められるケースもあり、より効果的な周知方法の検討が必要である。 			
	事業所管課	健康長寿福祉部 / 健康推進課			

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	03母子保健費	02母子健康支援事業			
細事業名	01 母子健康支援事業			決算書 P.176			
総合計画	基本方針	健やか安心都市	計画項目	市民主体の健康づくりの推進			
決算額		最終予算額	不用額 (-)	執行率			
39,959千円		40,083千円	124千円	99.6%			
目的	妊娠中から出産、子育て期間を通して、健診、各種教室を実施することで、子どもの健やかな成長発達及び保護者が安心して自信を持って育児に向かえるよう支援する。						
主要な事務・事業及び成果の概要	【妊婦健康診査】		28,360千円				
	妊婦健診は、平成21年度より公費負担を基本健診5回から、基本健診14回と検査項目ごとの追加検査（上限86,840円）に拡充した。平成23年1月1日より検査項目にHTLV-1を追加し、妊婦が安心して受診、出産できる環境を整備した。また、妊婦歯科健康診査も実施した。						
	受診票交付者数：412人						
	基本健診延受診者数 4,244人、追加検査延受診者数 4,076人						
	歯科健診受診者 82人						
	【乳幼児健康診査】		11,123千円				
	発達の節目の時期に健診を実施し、気になる乳幼児の早期発見・早期支援につなげると共に、保護者への子育て支援を行う。時期に応じて、歯科健診、フッ素塗布を実施する。						
	〔乳幼児健康診査実績〕		（単位：人、回、％）				
		対象	対象者数	実施回数	受診者数	受診率	前年度受診率
		4か月児	379	25	377	99.5	98.9
	10か月児	409	24	409	100.0	98.6	
	1歳6か月児	394	28	391	99.2	98.4	
	2歳6か月児	428	27	419	97.9	96.2	
	3歳児	465	31	459	98.7	96.5	
【母子等健康支援教室開催事業】		272千円					
両親学級8回（58組）、離乳食教室13回（130人）、妊産婦牛乳支給（3人）							
フッ素洗口事業（11保育所、3小学校）、保育所幼稚園歯科教室							
【その他経費】		204千円					
旅費等							
主な財源	府補	フッ素による子どものむし歯予防事業費補助金（1/2）	686千円				
	府補	妊婦健康診査支援特別対策事業費補助金（1/2）	9,270千円				
評価・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・妊産婦、乳幼児に対して、時期に応じた健診、教室等実施することで、気になる児の早期発見、支援（専門機関への紹介、療育等）が実施できた。 ・保護者に対しての子育て不安の軽減にもなっており、子どもの健やかな成長発達を促すことができた。 						
事業所管課	健康長寿福祉部 / 健康推進課						

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	03母子保健費	03発達障害児等早期発見・早期療育支援事業	
細事業名	01 発達障害児等早期発見・早期療育支援事業			決算書 P.176	
総合計画	基本方針	健やか安心都市	計画項目	市民主体の健康づくりの推進	
決算額		最終予算額	不用額 (-)	執行率	
264千円		264千円	0千円	100.0%	
目的	発達障害により集団生活が困難な幼児の早期発見、早期療育の観点から、子ども、保護者、保育者が安心して自信をもって就学が迎えられるよう適切な支援体制を構築する。				
主要な事務・事業及び成果の概要	対象者				
	平成21年度より峰山地域から開始し、2年目となる平成22年度は、峰山地域、丹後地域、弥栄地域、久美浜地域の年中児を対象に拡大実施（18保育所、2幼稚園） 対象児数：258人				
	事業内容及び成果				
	保護者説明会を開催し事業説明及び幼児期後半の子どもの発達と対応について健康教育を実施。健康観察票（問診票）を配布し100%の回収率を得られた。スクリーニングと行動観察の結果により、事後支援として府発達相談、市すくすく子育て相談、保健師による個別相談を実施した。				
	最終スクリーニング結果		要支援児の支援方法		
	問題なし	159人	61.6%	発達検査（保健所）	7人
	経過観察	74人	28.7%	すくすく子育て相談（相談員）	4人
	要支援	17人	6.6%	保健師相談	3人
	管理中	8人	3.1%		
	事業費				
発達障害児等早期発見・早期療育支援相談員報酬（1人）		232千円			
旅費（委員費用弁償）		13千円			
消耗品費（発達検査用具（玉つなぎ用具セットほか））		19千円			
主な財源	府補	発達障害児等早期発見・早期療育支援事業費補助金（1/2）	69千円		
評価・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・集団に馴染みにくい発達障害等を持つ児及び保護者に対して、より早期発見、早期支援に結びつけることができた。 ・2か年目となり、スクリーニングから事後支援に至るまで関係機関が相互に連携協力を行うことにより、児、保護者への支援体制が整いつつある。 				
事業所管課	健康長寿福祉部 / 健康推進課				

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	04老人保健費	01健康相談・指導事業
細事業名	01 健康相談・指導事業			決算書 P.176
総合計画	基本方針	健やか安心都市	計画項目	市民主体の健康づくりの推進
決算額		最終予算額	不用額 (-)	執行率
3,317千円		3,338千円	21千円	99.3%
目的	生活習慣病をはじめとした疾病予防、介護予防などを目的に生活習慣を振り返り、早世予防、健康寿命の延伸、健康の保持増進を図る支援相談を行う。			
主要な事務・事業及び成果の概要	市民の健康増進や疾病予防を目的に、健康相談・保健指導・栄養指導事業を実施した。健康相談では、個別に具体的な生活改善指導を実施した。健康教育は、生活習慣病予防・心の健康・介護予防などの集団健康教育による普及啓発を実施した。			
	【健康相談】			
	結果報告会（H22.7.6～H22.11.19、48日間）	延57会場	2,708人参加	
	栄養相談（予約制）		121人実施	
	【集団健康教育】			
	結果報告会集団健康教育	258回	4,013人参加	
	高血圧予防教室	3回	33人参加	
	出前講座	86回	2,284人参加	
	心と体いきいき教室（ボディートーク）	6回	90人参加	
	指導者や講師に関する経費			1,821千円
臨時保健師・栄養士賃金	1,513千円			
講師謝金、旅費	308千円			
事業の教材・資料・消耗品・その他通知に関する経費			1,450千円	
消耗品費	499千円			
印刷製本費	285千円			
修繕料	63千円			
通信運搬費	603千円			
その他の経費			46千円	
会場借上料等	10千円			
備品購入費（ワイヤレスピンマイク 1個）	36千円			
主な財源	府補	健康増進事業費補助金（基本額2/3）	708千円	
評価・課題等	<ul style="list-style-type: none"> 多くの市民に健康情報を伝え、自分の健康について考えていただく機会となっている。 生活習慣病を予防していくため、今後も重点ポイントを持ち、継続的に健康相談や健康教育を実施する必要がある。また、この事業を継続することで、医療費削減の期待ができる。 			
事業所管課	健康長寿福祉部 / 健康推進課			

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	04老人保健費	02総合検診事業																																															
細事業名	01 総合検診事業			決算書 P.178																																															
総合計画	基本方針	健やか安心都市	計画項目	市民主体の健康づくりの推進																																															
決算額		最終予算額	不用額 (-)	執行率																																															
108,194千円		108,197千円	3千円	99.9%																																															
目的	がんや疾病の早期発見を行うとともに、生活習慣病予防のための健康意識を高め、改善につなげる。																																																		
主要な事務・事業及び成果の概要	健康診査と各種がん検診などを同時に受けることができる総合検診として、地域の公民館等で実施した。																																																		
	実施期間：平成22年5月25日～10月5日																																																		
	実施日数及び会場数：48日間・27会場（各保健センター及び公民館等）																																																		
	検診業務委託料			105,326千円																																															
	委託先：京都予防医学センター・京都府医師会																																																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>検診内容</th> <th>対象者</th> <th>受診者数(人)</th> <th>受診率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">健康診査</td> <td>20～39歳</td> <td>1,152</td> <td></td> </tr> <tr> <td>75以上</td> <td>1,761</td> <td></td> </tr> <tr> <td>生活保護・その他</td> <td>87</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="7">がん検診</td> <td>肺がん</td> <td>40歳以上</td> <td>8,700</td> <td>45.9</td> </tr> <tr> <td>胃がん</td> <td>40歳以上</td> <td>5,270</td> <td>27.8</td> </tr> <tr> <td>大腸がん</td> <td>40歳以上</td> <td>7,752</td> <td>40.9</td> </tr> <tr> <td>肝炎ウイルス</td> <td>40歳以上</td> <td>770</td> <td></td> </tr> <tr> <td>前立腺がん</td> <td>55歳以上</td> <td>2,073</td> <td></td> </tr> <tr> <td>腹部超音波</td> <td>40歳から70歳 5歳毎</td> <td>1,211</td> <td>21.2</td> </tr> <tr> <td>子宮頸がん</td> <td>20歳以上</td> <td>3,004</td> <td>45.4</td> </tr> <tr> <td>乳がん</td> <td>40歳以上</td> <td>2,991</td> <td>50.0</td> </tr> </tbody> </table>				検診内容	対象者	受診者数(人)	受診率(%)	健康診査	20～39歳	1,152		75以上	1,761		生活保護・その他	87		がん検診	肺がん	40歳以上	8,700	45.9	胃がん	40歳以上	5,270	27.8	大腸がん	40歳以上	7,752	40.9	肝炎ウイルス	40歳以上	770		前立腺がん	55歳以上	2,073		腹部超音波	40歳から70歳 5歳毎	1,211	21.2	子宮頸がん	20歳以上	3,004	45.4	乳がん	40歳以上	2,991	50.0
	検診内容	対象者	受診者数(人)	受診率(%)																																															
	健康診査	20～39歳	1,152																																																
		75以上	1,761																																																
		生活保護・その他	87																																																
がん検診	肺がん	40歳以上	8,700	45.9																																															
	胃がん	40歳以上	5,270	27.8																																															
	大腸がん	40歳以上	7,752	40.9																																															
	肝炎ウイルス	40歳以上	770																																																
	前立腺がん	55歳以上	2,073																																																
	腹部超音波	40歳から70歳 5歳毎	1,211	21.2																																															
	子宮頸がん	20歳以上	3,004	45.4																																															
乳がん	40歳以上	2,991	50.0																																																
フィルム廃棄委託・送迎車両運転委託			23千円																																																
印刷製本、消耗品等（案内チラシ、申込書印刷等）			764千円																																																
通信運搬費（申込書、案内チラシ等）			2,025千円																																																
使用料（会場、クーポン券作成ソフト）			56千円																																																
主な財源	国補	感染症予防事業費等補助金（1/2）	2,394千円																																																
	府補	健康増進事業費等補助金（基本額2/3）	975千円																																																
	諸収入	後期高齢者医療保健事業補助金（基本額2/3）	3,492千円																																																
評価・課題等	<ul style="list-style-type: none"> 節目対象者や特定健診未受診者に個別案内を実施する等宣伝に力を入れたことで、平成21年度より受診者は増加している。 今後も疾病の早期発見、健康増進のために受診率の向上に努める必要がある。 																																																		
事業所管課	健康長寿福祉部 / 健康推進課																																																		

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	04老人保健費	03機能訓練事業		
細事業名	01 機能訓練事業			決算書	P.178	
総合計画	基本方針	健やか安心都市		計画項目	市民主体の健康づくりの推進	
決算額		最終予算額		不用額 (-)	執行率	
154千円		237千円		83千円	64.9%	
目的	疾病、外傷、老化等により心身機能が低下している者に対し、心身機能の維持回復、介護予防に必要な訓練、基本的な知識の提供などを行う。					
主要な事務・事業及び成果の概要	体力増進等を目的とした運動、絵画や陶芸などの手工芸、レクリエーションや交流などの活動を通じて訓練を行った。					
	実施状況					
	・京丹後リハビリの会 脳卒中などの疾病や外傷、その他の原因により心身機能の低下がある方を対象に閉じこもり、生活機能低下予防を目的とする。 実施回数：16回、参加実人数：30人、参加延べ人数：201人					
	・あじさいの会（リウマチ交流会） リウマチ疾患の方を対象に、疾病の自己管理や生活機能低下予防のための知識普及を目的とする。 実施回数：6回、参加実人数：18人、参加延べ人数：65人 両教室において、65歳未満の実人数 10人 / 48人中（20.8%） 対象者のうち、65歳未満分の経費のみ一般会計で執行し、65歳以上分は介護保険特別会計で執行					
	経費					
	臨時職員に関する経費 （介助員・看護師賃金）				44千円	
	講師に関する経費 （歯科衛生士・運動講師・食生活改善推進員・理学療法士・作業療法士）				18千円	
	事業の教材・資料等に関する経費 （消耗品費、賄材料費、会場借上料）				16千円	
	送迎車両の維持管理に関する経費 （燃料費、修繕費、保険料）				49千円	
	委託料（送迎のための運転業務委託）				27千円	
主な財源						
評価・課題等	・機能低下により、介護保険サービスに移行し退会された方もあるが、参加者のほとんどが要介護状態にならずに日常生活を自立して送ることができている。また、事業への参加により、社会参加、交流の機会となっている。					
事業所管課	健康長寿福祉部 / 健康推進課					

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	05予防費	01予防接種事業			
細事業名	01 予防接種事業			決算書	P.178		
総合計画	基本方針	健やか安心都市		計画項目	市民主体の健康づくりの推進		
決算額		最終予算額		不用額 (-)	執行率		
95,055千円		95,218千円		163千円	99.8%		
目的	伝染の恐れがある疾病の発症及び感染予防、発病防止、症状の軽減、病気のまん延防止のため、予防接種法に定める適切な時期に予防接種を実施する。						
主要な事務・事業及び成果の概要	予防接種は、感染症対策上最も有効な手段であり、予防接種法により市に予防接種が義務付けられている。市は委託した医療機関で行う個別接種と保健センター等で医師会の派遣医師により行う集団接種により予防接種を行った。						
	〔予防接種の種類・接種者数等〕						
			区分	対象者(人)	接種者(人)	接種率(%)	
	集団	ポリオ		延べ 1,419	延べ 876	61.7	
		二種混合		641	625	97.5	
		麻しん風しん(3期)		590	588	99.7	
	個別	麻しん風しん(4期)		653	623	95.4	
		三種混合		延べ 2,162	延べ 1,727	79.9	
		麻しん風しん(1期)		448	440	98.2	
		麻しん風しん(2期)		486	469	96.5	
日本脳炎		3,830	3,448回				
		BCG	418	391	93.5		
		区分	対象者		接種者(人)		
個別	インフルエンザ		65歳以上(60~64歳障害者含む)		10,627		
			65歳以上低所得者		769		
			65歳未満低所得者		569		
予防接種共通医師派遣委託料				1,724千円			
予防接種共通臨時看護師賃金				122千円			
予防接種共通事業費(旅費・消耗品・役務費等)				248千円			
乳幼児等集団予防接種ワクチン等医薬材料費				3,913千円			
個別予防接種委託料				86,293千円			
予防接種助成金等給付費				2,755千円			
主な財源	府補	新型インフルエンザワクチン接種助成費臨時補助金(3/4)			2,748千円		
評価・課題等	・インフルエンザ予防接種においては、低所得世帯の接種費用を公費負担とし、感染予防と個人の重症化の防止を図ることができた。 ・法に基づく予防接種であり、更なる接種率の向上に努める必要がある。						
事業所管課	健康長寿福祉部 / 健康推進課						

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	01保健衛生総務費	03自殺予防対策事業																				
細事業名	01 自殺予防対策事業			決算書 P.172																				
総合計画	基本方針	健やか安心都市	計画項目	市民主体の健康づくりの推進																				
決算額		最終予算額	不用額 (-)	執行率																				
1,328千円		1,384千円	56千円	95.9%																				
目的	かけがえのない生命が自らの手で絶たれているという痛ましい現実の中、自殺者をなくすために市民、行政、関係機関及び団体等が一体となって自殺予防対策を推進する。																							
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>自殺者ゼロを実現するために、「京丹后市自殺ゼロ実現推進協議会」の構成団体と連携のもと事業を実施した。 フリーアクセスによる無料相談電話の設置、傾聴講座を実施した。 また、こころの健康づくり、うつ予防対策事業の取り組み強化をはかるため、うつ予防のパンフレット作成、臨床心理士によるこころの健康相談日を開設、こころの健康づくり講演会「うつ病の理解と対応」及びこころの健康相談会を開催した。 なお、「多重債務相談・支援室」では、弁護士等と連携して債務問題の解決に当たるとともに相談者の生活再建に向けた取り組みも行っている。</p> <table border="0"> <tr> <td>フリーアクセス相談窓口受入謝金（京都いのちの電話）</td> <td>100千円</td> </tr> <tr> <td>フリーアクセス通話料 327件</td> <td>411千円</td> </tr> <tr> <td>うつ予防パンフレット作成（4,000冊）</td> <td>95千円</td> </tr> <tr> <td>傾聴講座開催（3回開催、参加人数：延べ73人）</td> <td>239千円</td> </tr> <tr> <td>心の相談事業（毎月1回）</td> <td>174千円</td> </tr> <tr> <td>臨床心理士によるこころの健康相談日開設 平成22年10月～平成23年3月（相談者延べ17件）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>研修関係旅費等</td> <td>309千円</td> </tr> <tr> <td>こころの健康づくり講演会及びこころの健康相談会 平成22年10月15日（金）講演「うつ病の理解と対応」 参加人数：128人 京都SKY大学と共催（講師費用等はSKY大学負担）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>自殺予防街頭啓発（京都府丹後保健所と健康推進課職員で合同実施） 平成22年12月27日（月）ショッピングセンターメイン（峰山町） 300人分啓発グッズ配布</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平成23年3月14日（月） 網野・久美浜Aコープ 各300人分啓発グッズ配布</td> <td></td> </tr> </table>				フリーアクセス相談窓口受入謝金（京都いのちの電話）	100千円	フリーアクセス通話料 327件	411千円	うつ予防パンフレット作成（4,000冊）	95千円	傾聴講座開催（3回開催、参加人数：延べ73人）	239千円	心の相談事業（毎月1回）	174千円	臨床心理士によるこころの健康相談日開設 平成22年10月～平成23年3月（相談者延べ17件）		研修関係旅費等	309千円	こころの健康づくり講演会及びこころの健康相談会 平成22年10月15日（金）講演「うつ病の理解と対応」 参加人数：128人 京都SKY大学と共催（講師費用等はSKY大学負担）		自殺予防街頭啓発（京都府丹後保健所と健康推進課職員で合同実施） 平成22年12月27日（月）ショッピングセンターメイン（峰山町） 300人分啓発グッズ配布		平成23年3月14日（月） 網野・久美浜Aコープ 各300人分啓発グッズ配布	
フリーアクセス相談窓口受入謝金（京都いのちの電話）	100千円																							
フリーアクセス通話料 327件	411千円																							
うつ予防パンフレット作成（4,000冊）	95千円																							
傾聴講座開催（3回開催、参加人数：延べ73人）	239千円																							
心の相談事業（毎月1回）	174千円																							
臨床心理士によるこころの健康相談日開設 平成22年10月～平成23年3月（相談者延べ17件）																								
研修関係旅費等	309千円																							
こころの健康づくり講演会及びこころの健康相談会 平成22年10月15日（金）講演「うつ病の理解と対応」 参加人数：128人 京都SKY大学と共催（講師費用等はSKY大学負担）																								
自殺予防街頭啓発（京都府丹後保健所と健康推進課職員で合同実施） 平成22年12月27日（月）ショッピングセンターメイン（峰山町） 300人分啓発グッズ配布																								
平成23年3月14日（月） 網野・久美浜Aコープ 各300人分啓発グッズ配布																								
主な財源	府補	自殺対策事業補助金（10/10）	617千円																					
	府補	未来づくり交付金（自殺予防対策事業）	200千円																					
評価・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・こころの健康づくり、うつ予防対策事業の取り組みとして、うつ予防のパンフレットの配付や、こころの健康づくり講演会及びこころの健康相談会を開催して、市民、職員に対してうつ病の理解を深めることができた。また、臨床心理士によるこころの健康相談日を開設し、相談窓口の充実を図ることができた。 ・今後は、関係機関との共催等により事業を実施するなど、事業の進め方について検討していきたい。 																							
事業所管課	健康長寿福祉部 / 健康推進課																							